

事前検討チェックリスト

- ✓ 農作業安全のための指針を確認した。
- ✓ 導入によるメリットを確認した。
- ✓ 導入する作業とその効果を確認した。
- ✓ 導入する作業の速度と作業精度、作業機制御、営農管理システムとの連携を確認した。
- ✓ 精度が低下することがあることを確認した。
- ✓ 導入コスト、ランニングコストを確認した。
- ✓ 後付けシステムの取り付け方法を確認した。
- ✓ サポート体制を確認した。

農作業安全のための指針

<http://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/shishin/shishin.htm>

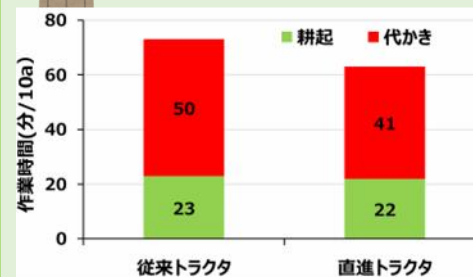
※指針等は使用時点の最新版を確認してご活用ください。

運用中に発生したトラブル事例

- 山間地域・時間帯でGNSS受信状態悪化により自動操舵が停止した。
- システム不調となる事例が発生した。随時バージョンアップされるOSへの対応が必要。



導入効果



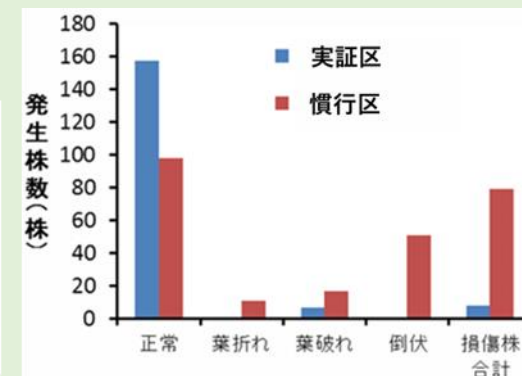
- 従来と比べて、耕起、荒搔き・代搔き作業時間を14%低減。
- 振り回り回数や時間が減り、疲労強度14.5点⇒3点に減少。

出典：

https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/r2/files/r2_suiden-E05.pdf

この他の導入事例は成果ポータルの自動操舵システムのページ

https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/seika_portal/gijutsu/portal/**/*.htmlをご覧ください。



- 自動操舵補助システムを活用した中耕除草作業の実施により、キャベツ株付近の残草割合が減少。
- キャベツの損傷株数は大幅に減少。

出典：

https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/r1/files/r1_yakaki_R-B02.pdf



導入効果が現れない例

- 複合傾斜のある圃場では、自動操舵によるトラクタの直進走行精度が低下する場合がある。
- 機種によっては、速度反応が悪く、超低速作業や高速作業で精度が低下する場合がある。